

クラフトサークルの9月の定例会は3年ぶりの型染をしました。



材料費を少しでも安くなるようにと廃材を手にいれてきてくれました。ありがとうございます。桜井をさがしてくれました。



まず汚れをサンダーや紙やすりで綺麗にすることから始めました。



サンダーは交代で使うことにして型紙づくりです。

下絵を決めて洋型紙に図案を写してカッターでカットします。この洋型紙は水に濡れても破れないものです。

カッターはデザインカッターを利用したほうが細かいカットもしやすいです。

デザインカッターは100均でも購入できます。ついでにマットも買えます。

この頃100均でなんでも手に入りますね。



秋の題材が目につきます。





できた型紙にマスキングテープを張っていますね。どのような作品になるのかな。
できた型紙を板に貼ります。



この方は押しピンでも止めていました。



止めたら糊を埋めていますへらでしっかり塗り込めます。

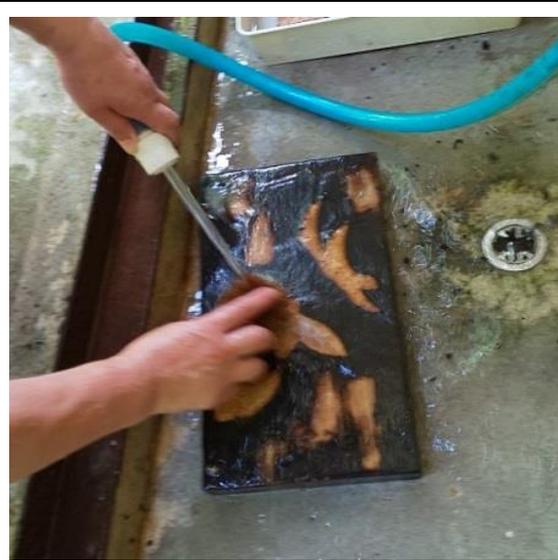




型紙を外す時は上手に誰かに手伝ってもらって上にあげるように外さないと糊が紙についてずれて図案が崩れます。

型紙を外したら糠を表面に振りかけてからバーナーで板の表面を焼きます。





焼いたら糊を洗い流して、焼いた表面も炭になった部分を洗い流します
綺麗にくっきりと絵が浮き上がってきました。



これも秋らしい作品です。

他にも技法は違いますが
ホンワカした作品もできていました。
どちらかが3年前の作品だったのですが、
どっちだったかな。

(笑) の字は彫っていますね。
見ていたらなんだか微笑みたくなります。



他に布製のかばんに型紙を置いて、アクリル絵の具で色つけたり、柿渋で染めたりした作品もできていました。



楽しく終えた後は机に並べて写真とりましたが全部並んでいませんでしたね。残念。



来年の干支を作ってきたくれた人がいました。

11月の定例会はいつも干支づくりです。

他にも見本できてくるかな。



10月の定例会は自然素材の収集と11月19日20日の里山あそび広場の準備にかかります。

11月19日20日石舞台に遊びにきてくださいね。

クラフトサークルでは見本とキットをいくつか用意してお待ちしています。